

# なかとんべつ 町議会だより

Volume

# 234

令和8年1月23日発行

## 中頃別町20歳を祝う会



1月11日 20歳を祝う会

第4回定例会議決された議案等 .....	3
私たちの一般質問 .....	4
議員だより .....	7
第7回臨時会 .....	8
いきいきふるさと常任委員会 .....	9
議会の動き・編集後記 .....	10



令和7年第4回定例会が、12月10日から3日間の会期で開催されました。

12月10日の招集日には、諸般の報告で、いきいきふるさと常任委員会（長谷川克弘委員長）から4件（中頓別学園整備事業の進捗状況、老人ホーム長寿園の運営状況、秋田地区風力発電の現状、町内工事視察として小中学校・ピンネシリ温泉・寿公園）の所管事務調査の報告がありました。

町長提出議案については、人権擁護委員候補者に対する意見諮問、固定資産評価審査委員会委員の選任同意案をはじめ、新規議案が1議案、関係例規の整備及び一部改正議案が5議案、令和7年度一般会計補正予算ほか6会計の補正予算を原案どおり可決しました。

一般質問では、通告順に4議員（細谷議員、宮崎議員、蓮尾議員、高橋議員）が、本町が抱える諸問題について、町長に所見を質しました。

また、議会運営委員会及びいきいきふるさと常任委員会から閉会中の継続調査申出を全会一致で決定し、会期を1日残して閉会しました。





# 第4回定例会で 決まりました



## 議決された議案等

○諮問第1号 人権擁護委員候補者に対する意見（塩田育美氏）

任期満了に伴い、町長が推薦する人権擁護委員1名について、議会の意見を求められたことに關して、適任であると答申しました。

任期3年 令和8年4月1日～令和11年3月31日

○同意第3号 固定資産評価審査委員会委員の選任同意

12月23日に任期満了を迎える委員を再任することに全会一致で同意。

字中頓別 是川哲男さん

任期 令和7年12月24日～令和10年12月23日

○議案第76号 情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例

地方公共団体における情報通信技術の進展への取り組みに努力するため、支障となるアナログ規制の取り扱いについて規定するもの。

○議案第77号 行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例（一部改正）

納付規定の追加、部分申請規定の追加など電子情報処理組織の使用に関する状況の公表についてインターネットの利用による公表に変更するもの。

○議案第78号 アナログ規制の見直しに伴う関係例規の整備に関する条例

本整備条例により、対面規制、書面揭示規制及びフロッピーディスク等の記録媒体を指定する規制に該当する規定の見直しを図るため、関係する8つの条例を改正するもの。

○議案第79号 税条例（一部改正）

地方税法の改正に伴い、公示送達、町民税、たばこ税を改正するもの。

○議案第80号 住宅建設促進助成条例（一部改正）

自主施工による住宅にも助成を行うことができるように条例を改正するもの。

○議案第81号 町立学校設置条例（一部改正）

令和8年4月からは義務教育学校「中頓別学園」として新たな枠組みに移行するため改正するもの。

○議案第82号 一般会計補正予算

既定の歳入歳出予算額にそれぞれ6千583万円を追加し、歳入歳出の総額は63億6千450万7千円に。

歳出の主なもの、畜産振興基金積立金（循環農業支援センター建物災害共済保険）1千812万円、小・中学校施設維持管理事業（校務端末・GIGA端末セットアップ等業務委託料）1千660万円、介護福祉センター管理事業（エアコン設置4台）256万円、認定こども園事業（エアコン設置6台）524万円などを追加するもの。

○議案第83号 自動車学校事業特別会計補正予算

既定の歳入歳出予算総額にそれぞれ311万円を追加し、歳入歳出の総額は6千929万円の職員手当（時間外手当）を追加するもの。

○議案第84号 国民健康保険事業特別会計補正予算

既定の歳入歳出予算額にそれぞれ33万円を追加し、歳入歳出の総額は2億3千542万円に。特定健康診査等負担金償還金を追加するもの。

○議案第85号 国民健康保険病院事業会計補正予算

収益的収支の収入支出既決予定額にそれぞれ475万円を追加し、総額は6億976万円に。

歳出の主なものは、給料780万円を減額するものの、派遣看護師報酬780万円、薬品費200万円などを追加するもの。

○議案第86号 水道事業会計補正予算

収益的収支の収入支出既決予定額にそれぞれ17万円を追加し、総額は1億5千447万円に。燃料費を追加するもの。

○議案第87号 介護保険事業特別会計（保険事業勘定）補正予算

既定の歳入歳出予算総額にそれぞれ569万円を追加し、総額は2億6千470万円に。歳出の主なものは、国庫返還金などを追加するもの。

○議案第88号 介護保険事業特別会計（施設介護サービス事業勘定）補正予算

既定の歳入歳出予算額にそれぞれ73万円を追加し、歳入歳出の総額は2億3千585万円に。歳出の主なものは、燃料費、光熱水費を追加するもの。

※○は原案可決

# ここが聞きたい、知りたい 私たちの一般質問

細谷久雄 議員



質問

高齢者の居場所づくりについて

パークゴルフは、昭和58年に北海道幕別町で誕生しクラブ1本とボール1個あれば誰でもすぐ楽しめるスポーツであり、北海道を中心に全国各地に普及しています。自覚的健康上の向上、社会的交流、運動による精神的な満足度の向上といった効果が確認されており、高齢者はもとより、働き盛りの世代の健康維持にも大変良いスポーツです。しかしながら、町の寿パークゴルフ場は有料であり、年金収入しかない高齢者には大変厳しいものがある。そこで、高齢者（70歳以上）の方々が寿パークゴルフ場を利用することを通じて、健康づくりや学びを感じ生き生きと暮らしてもらうためにも、来年度からコース使用料金を無料化してはどうか、町長の考えを伺います。

答弁 ○小林町長

パークゴルフが高齢者の健康づくりや介護予防、社会参加の促進に大きな効果を持つことは、町として十分認識しています。特に、年金収入が中心となる高齢者の皆さまにとって、継続して利用しやすい環境を整えることは、重要な課題であると考えています。

今後は、料金を減額した場合の財政影響、軽減による利用者増加の効果、他の利用者との公平性などを総合的に整理し、制度見直しの候補として検討を進めていきます。町といしましては、高齢者が安心してスポーツに親しみ、生き生きと暮らし続けられる環境を大切にしつつ、持続可能な施設運営との両立を図りながら、適切な方向性を導き出して参りたいと考えています。



宮崎泰宗 議員



質問

中頓別町は出生ゼロ時代を迎えてしまうのか、新しい学校づくりなどへの影響は

中頓別町では、新たな学校づくりが、ここ数年の話題の中心となっているが、学校建設と対照的な状況として、出生ゼロの可能性に対する心配の声も多く上がっている。現時点でも年度内に子どもが生まれる可能性は無いのか。

子供の人数は学園整備にも大きく影響し、必要な教室数が本町の計画内容から4教室も少なく判断され、およそ11億円を見込んでいた校舎建設に対する国からの補助金は、3億5千万円減の7億5千万円ほどと算定されたとのことであるが、そもそも、この新しい学校づくりは、令和4年度に「新しい時代の学びの環境整備先導的開発事業」に該当したと

ころから始まっている。狭き門を突破したと強調して言うほどの恩恵は無かったように思うが、補助対象外となる教室等の整備内容は見直さないのか。

年間3億円から4億円の経費削減が必要とされている財政面についてはどのような状況か。今年度は国勢調査の結果も気になるところだが、人口減少により税収が減っていくことも確実と思われる。早くも、新年度の財源が不足し、それを補うための借入れの利子も高額となるような話も聞こえてきているが、実際の状況や対策等についても伺う。

また、中頓別学園の開校に向けては、同窓会の幹事さん方に連絡先等の確認を依頼されてから、もう一年半近くなると思うが、この間なんの音沙汰も無いというのはどういうことか。4月で閉校となるなら、その案内などにも必要と思うが、どのようなお考えなのか。

### 答 弁 ○小林町長

本町では、現時点においても、年度内の出生見込みは無い状況であり、出生ゼロは管内においても初めてのことになると思われる。

令和4年度の国の事業採択については、新時代の学びに対応した学校施設の研究や、学習空間の改善に向けた設計・計画策定に対する支援であ

り、建設費補助の単価上昇や補助額増につながる性格のものではなく、補助の対象外となった教室やスペースについても、子どもたちの学びはもちろん、町民の皆様の学びや交流の拠点としての機能を確保するうえでも、本町の教育にとって必要な環境整備を着実に進めていく考えである。

財政面について、財政シミュレーションにおいて年間3億円の経費削減が必要とされており、対策を講じていきたいと考えている。国勢調査については現在集計中だが、人口減少は大きいと思われる。新年度予算に向けても、学校建設に伴う資金繰りに対する一時借入金の予算化が必要となるが、まず、歳出事業の抑制により健全な予算編成を目指し、その上でやむを得ない場合には一部基金の充当も考えられるが、財源不足を起こさない予算編成に努めていく。

### 答 弁 ○大島教育長

中小・中同窓生の皆さんへの寄付依頼などについては、ご案内等させていただく対応に時間を要している状況であるが、中頓別学園への応援をお願いしていきたいと考えている。

中頓別学園は中小・中の新しい姿であることから、歴史を閉ざす閉校式のようなことを必要としない形での開

校、新施設のブランドオープンに向けた話し合いが行われている。

### 蓮尾純一議員



### 質 問

#### 病院事業の置かれる現状認識は

病院事業について広く意見を募るとともに今後の合意形成を図るとお伺いしましたが、今後のスケジュールについてお伺いします。

病院事業の縮小を検討する前に既存の事業の縮減など、先に行政改革を行うことが優先だと考えますが見解をお伺いします。

政府の動向によつては診療報酬などにも影響があると考えますが、どのように捉えているのかお伺いします。

### 答 弁 ○小林町長

基本的な考えとして今年から来年度までの時間をかけて医療サービス、介護・福祉サービス医療、地域の支え合い、集落の維持を一体で見直しを図っていきます。1月中には最初の説明会を実施予定です。その際に基本的なことも含めしっかりと説明をした上で意見を汲み上げるなど丁寧に対応していきたいと考えています。行政改革については事務事業の見直し含め時代に対応する体制作りを抜本的に見直し進めていきたいと考えています。国における政策動向も見極めながら必要なサービスを持続するという視点に立つて取り組みを進めていきます。



### 質 問

#### 人口減少に対する公務員採用への魅力度向上の必要性

当町の就労人口のうち大多数を占めるのは公務員となっている現状があり、公務員の転出を防ぐとともに、新規採



用を促す必要があると考えます。地域の要である行政の崩壊は財政面だけではなく人員人材の不足からも起きうる問題ですが、現状どのようにお考えか伺います。

また、公務員の働きやすい、働きがいのある環境について、事業に対してコンサルタントを多用していることが職員のモチベーションに対して弊害が出ていないのかも含め現在のお考えをお伺いします。

### 答 弁 ○小林町長

職員の確保については雇用が都市部に偏り確保が難しくなっています。人事院の提言に基づき環境を整えるとともに、当町の地域や事業の特色などを発信し人材確保に繋がりたいと考えています。組織全体のコミュニケーションを深め、職員が自信を持って役割を担い、組織が一体となって公務に取り組みめるよう魅力のある職場作りを進めていきたいと考えています。

コンサルタントを利用している弊害については職員からヒアリングを行うなどして職員のモチベーションにどのような影響があるか調査を行いたいと思います。

### 質 問

#### 中頓別学園の開校後の展望が見えない件

中頓別学園について、他の学校とどのような点が異なるのか、どのような教育が行われるのか具体的に見えませんか。校歌や校章の設置の前にやるべきことがあるのではないのでしょうか。

移住施策にも関与する事業と答弁いただいた経過もあることから、ハード（外見）ありきでソフト（中身）がない、PRできない事態が起きうると非常に懸念しています。

また、ソフトがない中このようなスケールの建物が必要である理由も含めお伺いします。

### 答 弁 ○小林町長

ハードが先行しているというご懸念については真摯に受け止めております。教育内容の議論を並行して進め、随時町民にお伝えしておりますが、今後はより中身が見える形で情報発信の方法の改善をしてまいります。

子どもから高齢者までが繋がる空間として「人生100年学びの拠点」をつくるのがねらいです。このような場が将来の地域づくりにとって極めて重要であると判断したものです。他地

域と比較し4つの柱「幼児教育積み上げ型」「先導的学び」「教育委員会協働型」「教育と支援の融合」が魅力となり、この町で学ばせたいと思っただけの最大のポイントになりますが、具体的にわかりやすく共有できるよう検討します。



### 高橋 憲一 議員



### 質 問

#### 医療介護についての町民の意向について

この間、町は「町長がおじゃまします」を開催して、おもに病院経営の今後について、町民の意見を聞いてきたと思いますが、町民の意向をどのように受け止めたか。

また、町長が考える本町のこれからの医療介護の形はどのようなものか伺います。

### 答 弁 ○小林町長

「町長がおじゃまします」では、地域医療だけでなく介護を含めた地域ケアサービス全体で、その再生と存続に向けて検討していくことを皆様に説明させていただいた。全てはこれからではありませんが、単純に機能をなくして終わるのではなく、それに変わる仕組みや、他医療機関との連携、在宅医療、医療と介護の連携など、新たな仕組みを考えていきます。

改革に伴い不便が生じることは想定されますが、持続できる仕組みづくりが必要だと考えています。



## 質問

## 小頓別地区に予定の風力発電事業について

先の「いきいきふるさと常任委員会」の調査意見でも述べられているように、地域の自然環境の保全や災害の防止、および住民の健康面への配慮を考えた条例の制定が求められています。

また、小頓別地区の住民で「風車の建設に反対はしないが、もし出来てしまったら、私はここには住まない」という方もおられます。このような議会や住民の声をどのように受け止めておられるか伺います。

## 答弁 ○小林町長

風力発電事業に関しては、現時点で当該計画の環境アセスメントの評価分析中の段階であり、町として限られた情報しか持ち合わせていません。

このため、建設候補地の住民生活への影響、森林や動植物への影響について、十分把握できていません。

町民の健康や自然環境への懸念については真摯に受け止め、小頓別自治会の皆さんとの意見交換や環境への配慮など必要な対策を適正に講じていきます。

## 質疑・質問は要約されています

スペースの都合上、審議した議案や質疑・質問と答弁の内容を要約して載せています。会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局までお問い合わせください。

## 議会を傍聴しましょう！

議会は、町民の暮らしに直結する税や福祉などの身近な問題を議論する大切な場です。議会では、議会だよりで情報の提供に努めていますが、町政の動きを定例会や各種委員会を実際に傍聴し、自らの目と耳で知ることが大切です。

次の定例会は、3月に招集されます。日程は、議会だより臨時号などでお知らせします。多くの町民のみなさまの傍聴をお待ち申しあげております。

## 議員だより ～私の思い～

このコーナーは、それぞれの議員が町づくりや議会活動などについて、思いを綴るものです。

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様にとつて豊かで明るい一年になることを心より願っております。

さて、少子高齢化による人口減少が加速化しているこの町にとって「足りないものは何か」常々熟慮しているところではありますが、特効薬的な打開策は見いだせないのが現在のところです。

日本国内で見れば2007年に超高齢化社会に突入して以来、高齢化率も年々増しており、少子化の影響も影を落としています。しかしながら、わが町の状況は10年後、20年後の都市部の縮図を表していることは間違いのない事実であり、この状況の中で「豊かに暮らすこと」「楽しみを見つけること」「健康でいること」それぞれが、人口減少時代の先進地としてわが町がこの先に生き抜く力となり、衰退ではなく繁栄できうる一端とはならないかと私は考えます。

また、世界人口は2025年95億人を超える予想であり世界規模の食糧争奪戦も予想されております。

もうすぐ還暦を迎える年齢となり地産地消・自給自足が贅沢な暮らしの一部となると思い最近の暮らしに取り入れ始めてみたら豊かさを実感でき肩の力の抜けた素の自分に戻れたように感じます。

『思い立ったが吉日』の言葉曰く何かにチャレンジすると新しい世界が見えてくるかもしれません。

(綴人 長谷川 克弘)



## 第7回臨時会結果

令和7年第7回臨時会が12月17日招集され、議案10件を原案どおり可決しました。

議案第89号	職員給与条例（一部改正）
議案第90号	議会の議員報酬額及び費用弁償並びにその支給に関する条例
議案第91号	一般会計補正予算
議案第92号	自動車学校事業特別会計補正予算
議案第93号	国民健康保険事業特別会計補正予算
議案第94号	国民健康保険病院事業会計補正予算
議案第95号	水道事業会計補正予算
議案第96号	介護保険事業特別会計（保険事業勘定）補正予算
議案第97号	介護保険事業特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算
議案第98号	介護保険事業特別会計（施設介護サービス事業勘定）補正予算

※人事院勧告による人件費にかかる条例改正及び補正予算、国の経済対策として重点支援地方交付金の補正予算が主な内容となっております。



## 議会懇談会のお知らせ

町民の皆さんから広く意見を聞くため、議会懇談会を行っております。  
自治会、団体、グループ等で、気軽にお申込みください。

お問い合わせは、議会事務局まで



## あなたの写真を表紙にしませんか？

中頓別町議会では、町民の皆様が撮影した写真の募集をはじめます。応募いただいた中から選考し「なかとんべつ町議会だより」の表紙とさせていただきます。

**応募資格** 中頓別町在住の方

**募集内容** 人物、風景など中頓別町で撮影したもの。中頓別町の魅力や元気が出る写真を募集します。

**応募方法** 下記アドレスに、件名を「なかとんべつ町議会だより表紙写真」と書き、連絡先（電話番号、氏名、住所）を記入の上、写真を送付してください。



[gikai@town.nakatombetsu.lg.jp](mailto:gikai@town.nakatombetsu.lg.jp)

募集は随時しております。不明な点は議会事務局（6-2244）まで連絡してください。



# いきいきふるさと常任委員会報告（10月17日・22日）

いきいきふるさと常任委員会（長谷川克弘委員長）は、所管事務調査を実施し、第4回定例会（12月10日）に報告しました。

## 調査事項

（10月17日）

- ① 中頓別学園整備事業の進捗状況について
- ② 町内工事視察（小中学校）

（10月22日）

- ① 老人ホーム長寿園の運営状況について
- ② 秋田地区風力発電の現状について
- ③ 町内工事視察（ピンネシリ温泉、寿公園）

## 審査意見

（10月17日）

- ① 補助金について、現在までに想定していたのは10億円から11億円で、財政シミュレーションについても説明を受けてきている中で、これが現実的には7億円台になってくると思われる。このため、財政シミュレーションのやり直しなど、最悪の場合を見込んだ現実的なシミュレーションを改めて議会及び町民に対して周知を求める。

また、図書館については特定の人だけの施設ではなく、町民全体が活用できるように、事業計画の策定を早期に作成を求めるとともに、事業計画の策定後、議会との協議も必要と考えているので早急な対応を望む。

（10月22日）

- ① 職員の離職に関わる件数を減らすための改善策をしっかりと整え、実質赤字額が増加していることから、職員の確保を前提に稼働率及び利用者数を増やすための適切な対応を求める。

また、町営になってから運営協議会組織の立ち上げについて以前から提案して長側から前向きな意見が出されていたにも関わらず、未だに協議会組織が立ち上がっていないことから早期に立ち上げることを望む。

- ② 実施するかは現在のところ未定であるが、先行地域の条例等の整備状況を事前に把握することにより事業承認の判断材料になることから再生可能エネルギーに関する条例等の整備を含め早急な対応を求める。



小中学校視察の様子（10月17日）



ピンネシリ温泉視察の様子（10月22日）

## 議会の動き

### 11月

- 2日 中頓別町文化スポーツ表彰授賞式
- 11日 衆議院議員武部新先生との意見交換会  
(東京都)
- 12日 第69回町村議会議長全国大会(東京都)  
衆議院議員川原田英世先生との意見交換会
- 25日 議会運営委員会

### 12月

- 1日 議会運営委員会
- 5日 議会運営委員会
- 10日～11日 第4回定例会
- 17日 第7回臨時会
- 19日 南宗谷消防組合議会定例会(枝幸町)  
寿スキー場安全祈願祭
- 27日 全員協議会

### 令和8年1月

- 4日 新年交礼会
- 5日 南宗谷消防組合中頓別消防団出初式
- 9日 議会広報編集特別委員会
- 11日 20歳を祝う会
- 16日 議会広報編集特別委員会
- 20日 宗谷町村議会議長会定期総会(稚内市)

## 編集後記

物価高騰が止まらない中、日々の生活を送る上でごく普通の生活を制限されることが多くなっていると感じます。

ガソリンは税が上乗せ撤廃となりましたが、ようやく2、3年前の価格水準に戻った程度で恩恵を受けている実感はあまり感じません。寒くなってきたこの頃、ストーブに火を入れますが灯油の価格を考えると以前のように使えないなど、ふと考えますが風邪をこじらせては元も子もないとストーブの前に立ちます。

物価高騰は町政にも大きな影響を与えます。

例えば、病院や福祉施設の運営に物品の購入は欠かせませんので、物価が上がるたびに年度当初に立てた予算を圧迫します。このまま物価の高騰が続くこととなると様々な事業の縮小にも繋がりがかねません。

普通の生活を守るため、物価高騰にどう対応するのか。政府だけに頼らず、自治体レベルでも検討して対応できることはないのか今一度しっかりと取り組んでいきたいと思います。

議会広報編集特別委員会(蓮)



20歳の決意を述べる成人代表の青木大樹さん

## 用語解説

### 「会期」(かいき)

議会が法的に活動できる期間(開会日から最終日まで)のことをいい、本会議初日に議決により決定します。

なお、議案などの審議が会期中に終わらない場合などは、一度決めた会期を議決によって延ばすこと(会期延長)もできます。

## ホームページで議事録などを公開しています

中頓別町のホームページ

(<http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp>)で議会だより、定例会の議事録などを公開しています。

町ホームページから

中頓別町について⇒中頓別町議会

又は(行政情報)⇒(議会)へ進みご覧ください。

議会はみなさんの暮らし、福祉などの身近な問題を議論する大切な会議です。

議会日程や傍聴の手続き、請願・陳情などのお問合せは、TEL6-2244(議会事務局)へ。

発行 中頓別町議会  
編集 議会広報編集特別委員会  
お問合せ 北海道枝幸郡中頓別町字中頓別172番地6  
tel (01634) 6-2244(直通)  
fax (01634) 6-1155  
e-mail [gikai@town.nakatombetsu.lg.jp](mailto:gikai@town.nakatombetsu.lg.jp)